

第三號

主務	出票	大官	房
番	提	領	結
主	明	明	明
銀	洛	洛	洛
口	年	年	年
才	七	七	七
七	月	月	月
八	日	日	日
早			

聯 帶 局 長

決裁

大臣

米

件

名

安東縣陽間輕便鐵道車輛增加，件

受

地類

卷之四

清宮藏書 二二八六 (新)

名
兵站總監部

忍

次

參事官

主務局長



主務部



主務課員



高級副官



11

主務副官



長 壽 寺



者記筆案審

市債大長、は然今按

市債者第一二三四五ノ以テ調米方依托也
輕便狭道材料、外更ニ小標車二十五台小貨車
百三十台
準備あり此等及然今依也

七月三十一日

兵站總監、は四六ノ案

安東路心、敷設ス、輕便狭道材料準備方、
義ニ甘キ総計五五〇ノ第一等ノ貨車ハ
不、該材料中、小標車二十五台、小貨車百三十
台、準備あり、此等及然今依也

陸軍省
第三二二號

七月三十一日

市件ノ費用ハ總務省管内ヨリ課金支拂ハ被仰

(調査費用ハ該市ヨリ支拂ハ被仰)

陸軍省

大臣

名 諸

發

二一六
二一六
二一六

名
大平字



難田

主務局員

王羲之



王羲之



總
 經
 理

卷之四

100

高田町長 無狀此等 夫何也 御答

本年七月迄才五五〇号才七号以テ無狀此等
注亦有之、安東名産 陽向ニ要ス 輕便飲通
初軒ノ内小橋同車ニ在リテ向キ廿五台傳信
ノ可ク以同冬ニ在リテ向キ廿五台ノ内十台ハ外
國注品別美ノ都合ニ依リ注張前ニ登送段
當ニ名産ノ可ク在リテ向キ廿五台

別向休重ら名産別美ノ都合ニ依リ注張前ニ
登送段ノ内十台ノ如クナルモ向キ馬山
三娘傳信ニ引之テノ五台ヲ傳信送有シ全地
ノ分ニ傳信送有シ全地ノ内ヲ以テ埋メ合セ
向キ休重らト注張前ニ在リテ向キ廿五台

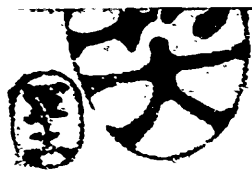
十月十六



本年七月迄才五五〇号才七ヲ以テ其額ハ今ヨリ
減小有シ、安東省遼陽關ニ要スル輕便鐵道
材料ノ内ハ概同車ニ存リテ、又向キ廿五台、津浦
ノ車ニ以テ同車ニ多ク是迄ハ廿五台ノ内十台ハ外
國注文品、別美ノ都度ニ依リ、往來前ニ發送段
多ク、豫メ以テ必要ナル車

十月十六日





8280

第七六五號

満密殺第一三三號ヲ以テ貴省大臣ヨリ當
省大臣ハ調解方御依託相成候小機關車
二十五臺小貨車百三十輛ハ御託條件ニ依リ
購入候ニ付左様御承知相成度候也

記

一、小機關車

貳拾五臺

三十七年八月四日「フレザ」商會ト契約

納入期限及場所

三十七年十月三十日限り横濱納

注文先

米國「ボールドウ」工場

費額

米貨拾萬弗也 志台三
四十弗也

一、小貨車

志百參拾輛

鐵道省

21/18

三月十五日

内

(イ)七輛

三十七年八月十八日京釜鐵道會社卜契約

納入期限及場所

三十七年八月廿日釜山積置池渡

費

額

老十五拾七圓也

老百五拾老圓也

(ロ)百貳拾參輛

納入期限及場所

三十七年八月八日汽車製造會社卜契約

納入期限及場所

契約、日ヨリ早見以内三九月十者退大坂納

費

額

貳万六千參百九拾五圓八拾錢也

老輛三付貳百拾四圓六拾錢割合

以上

明治三十七年十月十四日

鐵道作業局長官平井晴二郎



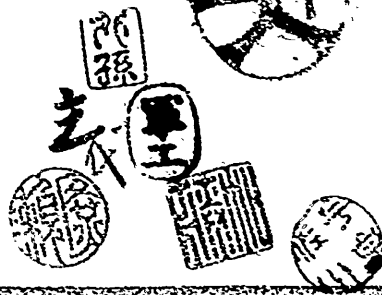
(四四四)

陸軍次官石本新六殿

追テ小機園車貳拾五臺、期限ハ十一月三十日限リト
 相成居候得共其内拾臺ハ十月二十日前ニ拾五臺ハ
 十一月十日頃本邦着、見込ニ有之候



1880



第六三五部

客月二十六日満密衆第一四七五部
ヲ以テ貴省大臣ヨリ當省大臣ノ内
照会相成ルハ十八封執條二十五里
分油弄方、伴ハ京釜鐵道通株式會
所方ニシテ左記各地所在、分ヲ
購入スルコト、ニ枝光製造所ハ、注文ヲ
見入ルセヨ乃以テ知事本座此方及
回々分所也

明治三十七年九月十九日

鐵道作業局長官得平井晴二郎



Vertical text and stamps on the right margin, including a date stamp '日付' (Date) and '明治三十七年九月十九日' (September 19, Meiji 37).

陸中次官石本新之助

在仁川

一拾八封机條

拾哩分（附屬品共）

在大邱

一全上

拾五哩分（附屬品共）

右ハ龍ノ金山若クハ三娘津附近ニ有ル
海ノコト

8880

未結

未結

未結

未結

未結

未結

未結

主務局長 明治八年八月 日	主務課長 明治八年 月 日	主務課員 明治八年 月 日	大官 明治八年 月 日	房官 明治八年 月 日
主務局長 明治八年八月 日	主務課長 明治八年 月 日	主務課員 明治八年 月 日	大官 明治八年 月 日	房官 明治八年 月 日
主務局長 明治八年八月 日	主務課長 明治八年 月 日	主務課員 明治八年 月 日	大官 明治八年 月 日	房官 明治八年 月 日
主務局長 明治八年八月 日	主務課長 明治八年 月 日	主務課員 明治八年 月 日	大官 明治八年 月 日	房官 明治八年 月 日
主務局長 明治八年八月 日	主務課長 明治八年 月 日	主務課員 明治八年 月 日	大官 明治八年 月 日	房官 明治八年 月 日

裁決

査

件名

受領

主務局長

参事官

次官

執條訓弁方照令ノ件

ニ一ニ一

大木

主務局長

主務課長

主務課員

主務課員

高級副官

高級副官

主務副官

主務副官

主務局長

主務課員

馬込侯大長、は堅金案

先被降係はつわ二用ウん輕便鉄道材料中、
十八おが軌条ヲ馬山浦三館津呂鉄道用ニ
引先廿二付其荷填トシテ本寺十二リと二十
ハ表を軌条二十五哩（所外参考）ト浦系方々
斗々おが

枝光

シテ本寺又軌条ハ一ト本寺備衆所々、衆化方被
金に廿二付一降々

陸軍省満蒙發第一四七五號

八月廿四

（次四をアリせん）

謀略第一九三セキノ一ノ以テ此ニ會スルニ
十五刻迄飢餓準備、保ハ都令有ニ十八刻迄
飢餓ヲ購買ノ子ニ衣サス

九月廿一日

三三五

如件，共計約四百一十餘條。
張友直書

(軍工)

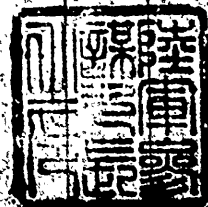
9880

大本營陸軍參謀次長長岡外史

明治三十七年八月廿二日

大本營陸軍參謀次長長岡外史

陸軍省に於て



八月廿五日

輕便鐵道材料使用の時、胡、
皮、密、其、分、一、四、回、平、四、回、
取、目、下、鉄、道、工、事、中、大、
安、東、線、下、島、塘、河、工、事、中、大、
其、他、ノ、如、多、ノ、上、ノ、十、月、中、完、成、
諸、事、之、上、結、形、前、向、下、島、塘、以、北、

工事ノ進捗モシノハ石ノ跡定、如ク
官施シ得見、ハ已ムヲ得、ハ明、事、如ク
待テ、線、跡、ヲ、延、長、セシ、ハ、斗、画、ハ、有、ク
リ、事、ハ、以、テ、事、ハ、出、ル、ハ、有、リ、

8880

次定より大本營陸軍參謀次長、

同令案

鴨綠江以北、輕便鉄道ニ引充テ、十八番支軌
 条二十五哩ヲ馬山浦三館津間ニ使用候ニ付其代
 取トシテ同長、二十五番支軌条(附屬不共)準備方
 謀備第丁八三七号ノ第一ノ一ノ一ノ一ノ一ノ一ノ一
 番支軌条第五五〇号ノ一ノ一ノ一ノ一ノ一ノ一ノ一
 番者大長より差當り十條間車二十五番支軌条
 百三十輛準備ス、キハ此四番支軌条ノ付其材料
 料ト告ニ請キ右半條標示ノ一ノ一ノ一ノ一ノ一ノ一
 用、時即隊致承知量分此

八月二十日

陸軍省

(軍工)

0680

豊後 満密受第二四二一號

大本 謀略第一九三七號第一

明治三十七年八月十五日

大本營陸軍參謀次長長岡外史

陸軍次官石本新之助

後來鴨綠江右岸鉄道延長ノ場合必要有之矣
ニ付満密發芽一四〇一號ヲ以テ通牒相成矣馬山
浦三娘津間ニ使用スヘキ十八封軌條ニ代ヘ之同
長ノ二十五封軌條(附屬品共)準備置相成度
此段及照會候也



八月十九日

474

軍五

兵站總第五五〇號第七

明治三十七年七月廿六日

陸軍大臣寺内正毅殿

兵站總監侯爵山縣有朋

兵站

満密普第一二三号ヲ以テ安東縣遼陽
方面ニ要ス輕便鉄道材料準備方法
調査結果ヲ別表ニ通シ車輛
等ヲ増加ス必要有之付準備方立取計
相成度ハ及テ請求ス也

大本營

別表ニ添付



8680

第二八の節

満密教第一二九七節、以テ貴者

大臣ヨリ雷省大臣、以テ照会、ある事

輕便、續シテ材料、集積、返ル中

横濱ニ集積、スルコトニ要、更方、件

戸ニ集積、スルコトニ要、更方、件

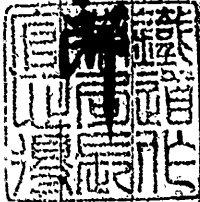
ニ係、お、政、行、也

進、テ、神、戸、集、積、期、日、ハ、来、ル、八、月、十

二、日、マ、テ、見、込、ニ、カ、ル、事、也

明治三十七年七月廿九日

鐵道作業局長官邸平井晴二



2116

0894

陸軍次官石本新少校

金澤今業所

(小林印行)



5680

第二八十一節

満密發第一二三四號貴省大臣ヨリ
 却照會ニ依リ輕便鐵道用材料調
 辦方紳依託ノ件了承取調カ要
 其物品代豫算ハ凡ソ左記ノ通ニシ
 尚其詳細ハ別冊ノ通ニ有之也
 此段及回答也
 明治三十七年七月廿九日

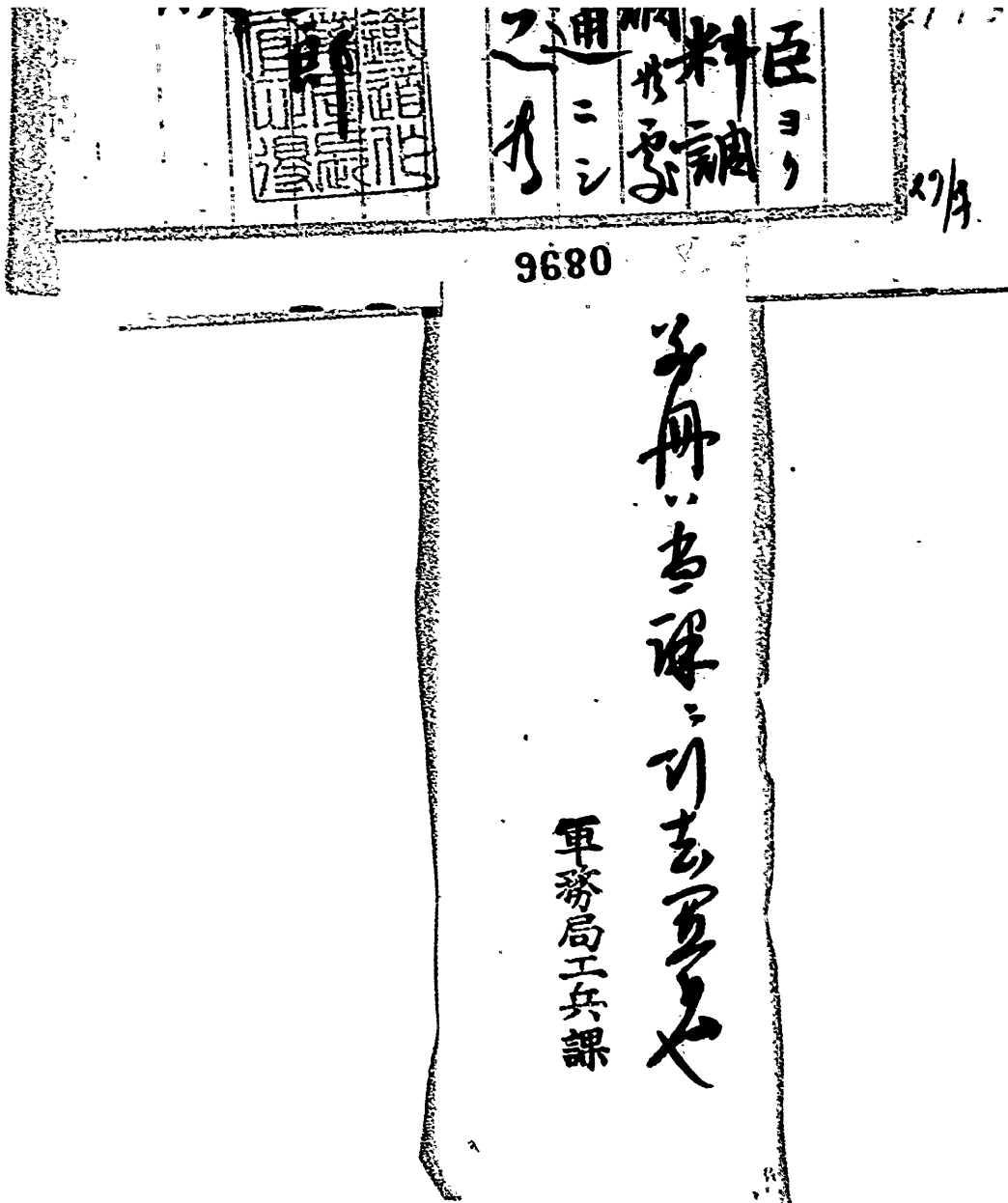
鐵道作業局長官心得平井清二



陸軍次官石本新六殿

9680

子冊



一 小機関車 附備トモ 二十五輛	此代金 二十万五千七百拾九圓	二 小貨車 附板トモ 二百四十輛	此代金 五万老千四百八十圓	三 軌條及附屬品 おイントラロシツグ 百五組トモ 百四十五哩	此代金 四十三万〇二百十五圓	四 小枕木 十六万挺	此代金 貳万七千貳百圓	五 雜費	金三千圓	以上京金鉄道有合品及之ニ附屬スレ物品
--	-----------------------	--	----------------------	--	-----------------------	-------------------	--------------------	-------------	-------------	---------------------------

(小林印行)

購入費

六

(a) 車輛組立器具及材料

此代金九千〇九十圓

(b)

軌條引延ハシ器具及材料

此代金七千三百七十三圓

(c)

工場用器具及材料

此代金二万叁千百五十六圓

七

電信材料

此代金二万四千八百拾壹圓

合計金七拾八万貳千四拾四圓



應行方片、以金會案

去月廿一日海軍部方一二六四号、乃面報、手、輕便
 鐵道材料集積區、中、橫濱、集積、ス、キ、ヲ、一
 回、勿、以、汽車、輸、送、ヲ、以、テ、神、戸、ニ、集、積、ス、ル、ヲ、
 要、更、度、以、テ、以、及、照、会、ス、ル、也

進テ神戶集積期、の、豫、メ、既、ニ、行、ハ、ル、所、也

陸軍省 送達 満密發第一二八七號

七月廿七日

本面、ス、ル、ヲ、以、テ、

其、站、迄、テ、以、テ、面、會、案

輕便、鉄、道、材、料、中、横、濱、ニ、集、積、ス、ル、ヲ、以、テ、汽、車
 輸、送、シ、テ、以、テ、神、戸、ニ、集、積、ス、ル、方、法、ヲ、五、五、〇、号、以、テ、

T060

陸軍省

証成之取次了夏冬
追テ神ノ集候如ハ
方々
陸軍省
第一五一五號
七月三十日

軍工

2060

軍工

受領 満蒙支那 二一六 號

兵站總監 總第五五。 號第六

明治三十七年七月廿五日

兵站總監 侯爵山縣有朋

兵站監印

陸軍大臣 寺内正毅 殿

總 予 五五。 予 弟 三。 以 予 輕 便 鉄
 道 材 料 集 積 及 船 積 方 請 求 致 置
 支 處 航 海 一 回 顧 慮 上 横 濱 二 集 積
 不 一 予 弟 一 回 顧 慮 上 横 濱 二 集 積
 以 予 神 戶 集 積 不 一 回 顧 慮 上 横 濱 二 集 積
 度 以 及 請 求 候 也 按 表 更
 進 予 神 戶 集 積 期 日 以 回 答 相

8060

成
夜
申
臨
文

0904

主務司 領受 明洛 年 七 月 九 日 大 臣 領受 明洛 年 七 月 九 日 房 官 領受 明洛 年 七 月 九 日	裁 決 皇 濟	大 臣 委 次 官	件 名 安東省より遼陽ニ至る鉄道材料ノ件	審 判 領 密 更 身 二 一 一 六
主務司 長 大 臣 長 房 官 長	主務局長 主務課長	参事官 高級副官	名 長 官 氏 氏	閱
主務司 長 大 臣 長 房 官 長	主務局長 主務課長	主務副官	主務副官	主務副官
審 案 筆 記 者	主務課長	主務副官	主務副官	主務副官

師代大長、リ國物集

防者、才一二三四、リ以テ調年、方依此、可
 不極、車以下、ハ別、ハ國集、積、亦、中、長
 及、國、集、也

七月廿一日

馬、路、信、冬、リ、國、集

信、才五五、リ、才三、リ、以、テ、輕、便、給、道、材、料、集、積
 区、分、方、法、求、ハ、給、ハ、也

陸軍省 満蒙發第一二六四號

七月廿一日



三

酒部第二一六

田 三月十九

兵部總第五五〇號第三

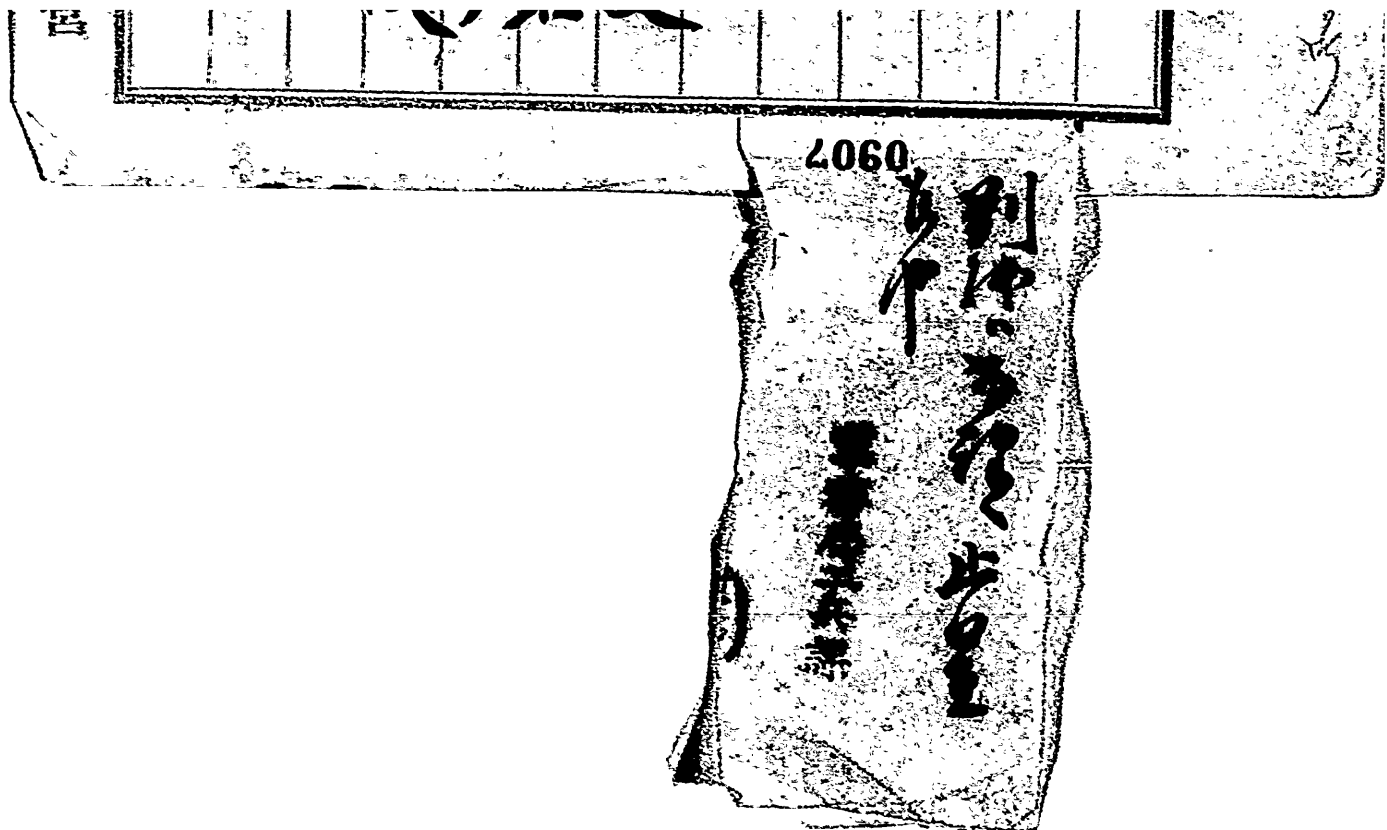
明治三十七年七月 日

陸軍大臣寺内正毅殿

兵部總印

満發第一二三三號ヲ以テ機關車式輕便
鉄道材料準備方御同答相成候處右
材料ハ船舶輸送、都合上別表、如ク
集積並ニ船舶積方御取計相成度此殿
及請求候也

大本營



監督部

三

1

經緯



中華民國十七年



名 安東呂子達陽三子鶴子材料一付

大臣

愛

次
實



高級別官



五
川

主 持 人



裁 決

聖濟

水事官

主務局員

主務部展

[Faint, illegible handwritten notes]

主務官



主
番
內
方
三
號

明落年七月九日

課
出提
明
治
年
七
月
六
日

臣大領受
明治
年
七月廿四日

官房
丁結
明
年

聯 帶 局 長



聯 帶 長

審案筆記

三
二十五封及軌條(所屬品)五(五)聖(五)哩

和之車輛、運材ニ及ミテ、限リ軌条ノ封止
致ラセムニ妨ケナシ

四 枕木

十六万挺

五 車輛組立、軌条成テ止シ及工場器具 一式

外ニ

電代材料

(電柱ヲ除ク)

可成ニ省能保ヲ要ス

右費用約八十万円

七月十五日

通密發第一二二四號

以テ、軌道作業自所方心ハ照テ、

本日滿蒙地方一二二四 号ヲ以テ小橋、関車

道之令即國防部亦以此見之可以予適任之加予多

陸軍省滿密發第一二二九號

七月十五日

真就臨冬、以圓為景

忘中五五口号才一舉令修安東五道陽同
 要之軌余等庫備方何改之_祀中_中為_為本_本圖

奉
之

陸軍省

満密發第一二二二號

七月十日

追々本初利多月一

本件ノ要旨總額ハ約参五萬圓ニシテ

係ノ結果内ヲ詳察スルニ



陸軍省

陸軍省 満密受第二一八七號

兵站總第五五〇號第一

明治三十七年七月九

陸軍大臣寺内正毅殿

兵站總印

安東、和、下馬塘、經、遼陽、通、兵站、路上、二十五磅軌、敷、設、輕、便、機、關、車、式、輸、送、ヲ、実、施、ス、必、要、有、之、ヲ、付、所、要、之、材、料、準、備、相、成、度、以、段、及、照、會、ス、也

大本營

陸軍省 第七月九日

9/7 1126

之、作事らへ、子、

材料用

一、千五村、良、軌、糸

一、百、二十、哩

代、價、米、俵、十、八、万、二、千、四、百、兩、但、一、哩、百、一、十、五、兩、

期、銀、五、六、月、神、戸、本、船、側、抵、し

傷、身、右、中、二、二、哩、令、五、月、五、日、抵、美、十、二、哩

令、五、月、十、日、抵、美、十、二、哩

一、小、機、関、車

廿、四、輛

代、價、米、俵、九、万、六、千、兩、但、一、輛、三、万、四、千、兩、

期、銀、五、月、末、神、戸、本、船、側、抵、し

傷、身、右、中、三、輛、八、神、戸、本、船、側、抵、し

一、小使事	二百四十員
代價 三百六十員二十四員 但一員三百五十員	
期限 五月中東洋船	
場所 在ノ中六十員、釜山、等	
一、小使事 十員、旋	
代價 二百五十員、但一員、十員	
期限 五月中、少海、本船、也	
合計金 六十員、六十員、四十員、也	
備考 小使事、及、二十五員、封、度、執、事、ニ、付、シ、テ、	
以上代價、外、ニ、神戸、陸、揚、地、置、場、料、ヲ	
以上要ス	

記

八封度軌系

式於五哩（在釜山）

代價或萬參千貳百貳拾七兩五仙

價壹哩 貳百參拾貳兩六錢七仙

小機交車

壹輛（在神戶）

代價四十兩

備考 如乘釜山至海邊費及小機交車神戶陸揚

費及置揚料、已上代價二合云々

以上

之、各站の平均

一 小機関車

二十九輛

二 小貨車

二百四輛

三

三十五封度軌条

百四十四哩

四 封度軌条、運送ニ差支ナキ限、軌条ノ封度

數ヲ減スルコトアルヘシ

十六万挺

五

車輛運送、軌条中延シ及工務器具

一式

外

電力材料（電柱、電線）可成十萬圓總ニ要ス

空 間 4m

8160

受領

附

附

内寄上分二一六号

名 兵部御用

件

名 安東名下馬場、遼陽間輕便鐵道材料ノ件

大

馬

次



高級副官



主務副官

主務副官



決裁



主務局長



主務課長



主務課員



主務局 受領 出提 大官 了結

明治 年 七月 廿四 日 明治 年 七月 廿七 日 明治 年 七月 廿七 日

聯 帶 局 長



聯 帶 課 長



審 案 筆 記 者



通入者片以照会案

満蒙地方一ニニ四号以下調年方依托政事輕便給与材料ノ外更ニ同材料所出不用之圖ヲ庫移ノ事否ハハ及照会スル也

通テ満蒙地方一ニニ四号材料中車輛但立、軌条車止シ、工場器具及電信器具材料、不用明細表至急圖外ハハ

七月廿八日

通入者片以照会案

明細表以ハハ敷設スヘキ輕便路材料ノ事ハハ注テ五五〇号以下注テ敷設スル事

0920

陸軍省

市如後



以奉旨、幼佐老、乃同、御臨、第、内、謹、在、子、弟、

陸軍省 満洲野戦第一〇一聯隊

七月廿八日





1260

陸軍部第五九〇號第五

明治三十七年七月廿三日

陸軍部 第五九〇號 第五

陸軍大臣寺内正毅殿

兵站總監侯爵山縣有朋

陸軍部 第五九〇號 第五

満蒙發第一二三三号ヲ以テ輕便鐵道材料
準備方御回各相成英虞右材料中敷設
器具車輛組立及工場器具等ハ別表ノ
通必要ニ付總第五五〇號第三請求ノ
通り夫、準備相成度此段及請求英也

五月廿四日

44 442

2260

別紙ハ多シ

也	來	衣	敷	材	印	監	廿四日	492
---	---	---	---	---	---	---	-----	-----

0922

別紙、多量、少量

軍務局工兵課

第三二七號

満密發第一三。一編一ツ以テ貴省大
臣ヨリ當省大臣一兩縣令あふ年々輕
便後道用材料ノ件ハ夫々個辦方
算計ツヘウモ尤モ市指定ノ器具材
料品目中保線ニ要スルモノハ
月二十九日第二編一ツ以テ
回答セシメ延ハシ器具及材料
内ニ包含セシメ置キ間右ニ成
有之度也

明治三十七年八月四日

15-11-11

0924

鐵道作業局長官澤平井晴二
陸軍次官石本新六殿



(小林印行)